

日本アジア投資株式会社 2020年3月期 第1四半期 決算補足資料

決算発表日：2019年8月13日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 通期の業績予想	P10
4. 営業活動の状況	P12
5. 参考情報	P17

(ご注意) 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

✓ 当四半期の実績

- 前年同期比：3.7%増収、赤字幅4億円縮小
- プライベートエクイティ投資資産の評価損が大幅に減少

✓ 通期の業績予想

- 実績は巡航速度、低い進捗率は想定のとおりで期初計画値に変更なし
(通期業績見込に対する進捗率：営業収益5.6%、最終利益△6.4億円)
- 第4四半期に利益集中するため、当初より上期は赤字見込み
- 国内外のIPOで株式売却益見込む

✓ 営業活動の状況

- FIT価格30円台のメガソーラー案件の開拓が順調、新規に3件投資
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する戦略投資を2件実行
(追加投資1件、新規投資1件)
- 第1四半期以降のIPO実績：(株)ステムリムが8月9日に東証マザーズに上場

2. 当四半期の実績



ハイライト	P5
営業収益・営業原価内訳	P8
KPIの進捗状況	P9

2.当四半期の実績-ハイライト P/L



	2019/3期 1Q 実績	2020/3期 1Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
営業収益	189	↑ 196	3.7%
営業原価	487	↓ 59	△87.8%
営業総利益	△297	136	-
販管費	239	255	6.6%
営業利益	△537	△118	-
経常利益	△537	△146	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△539	↑ △142	-

- ✓ 前年同期比：3.7%増収、4億円赤字幅縮小
- ✓ 営業収益は、過年度にIPOした投資先企業の株式売却が進捗したため増加
- ✓ 営業原価のうちプライベートエクイティ投資資産の評価損が大幅に減少したため、赤字幅が縮小

2.当四半期の実績-ハイライト B/S



	2019/3期末 実績	2020/3期 1Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
総資産	17,305	16,029	△7.4%
うち 現預金	5,564	3,724	△33.1%
うち プロジェクト投資資産	5,514	↑ 5,923	7.4%
うち 戦略投資資産	373	↑ 685	83.8%
うち プライベートエイクイティ投資 資産（戦略投資以外、引当後）	4,765	4,677	△1.8%
借入金	9,784	8,887	△9.2%
自己資本	6,840	6,615	△3.3%
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,294	↓ 759	△41.3%

- ✓ プロジェクト投資残高：順調な投資実行により残高が増加
- ✓ 戦略投資残高：2件の投資実行により残高が増加
- ✓ 財務バランス：借入金の返済により減少したもののプラスを維持
(現預金+プロジェクト投資△借入金)

2.当四半期の実績-ハイライト C/F



(単位：百万円)	2019/3期 1Q 実績	2020/3期 1Q 実績
営業活動によるCF	△172	△187
投資活動によるCF	△25	43
財務活動によるCF	△1,468	△896
CF増減額	△13	5
期末残高	3,078	3,048

- ✓ 営業CF： 187百万円の支出
四半期損失の計上や投資の実行に伴いマイナス
- ✓ 投資CF： 43百万円の収入
ファンドの償還が発生したためプラスに転換
- ✓ 財務CF： 896百万円の支出
返済優先の財務対応を改めよう返済額を減額したため、
マイナス幅が前年同期から大幅に減少

2.当四半期の実績－営業収益原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投		プロジェクト投資	
	2019/3期 1Q 実績	2020/3期 1Q 実績	2019/3期 1Q 実績	2020/3期 1Q 実績	2019/3期 1Q 実績	2020/3期 1Q 実績
営業収益	189	196	154	157	34	38
管理運営報酬等	65	55	64	54	0	0
営業投資有価証券売却高	70	90	70	90	-	-
組合持分利益等	44	40	17	8	27	32
その他営業収益	8	10	1	4	6	5
営業原価	487	59	487	59	-	-
営業投資有価証券売却原価	64	50	64	50	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	415	5	415	5	-	-
組合持分損失等	5	1	5	1	-	-
その他営業原価	1	1	1	1	-	-
営業総利益	△297	136	△333	98	34	38

- ✓ プライベートエクイティ投資：営業総利益が黒字転換
前年同期は海外投資先企業の回収見込額低下に伴い多額の評価損が発生したが、当四半期は投資資産の毀損が少なく評価損が大幅に減少したことが主因
- ✓ プロジェクト投資：前年同期並みの持分利益が発生
売電中プロジェクトの利益から建設中プロジェクトの先行開発費用を控除した後の金額を、持分利益として計上。前期中に完成したプロジェクトの利益や、一時的な費用の減少が寄与。

2.当四半期の実績 – KPIの進捗状況



最終目標	2021/3期
最終利益	7億円
ROE	9%

戦略	施策	KPI 2020/3期1Q 実績	KPI 2021/3期 目標
プロジェクト投資 資産からの安定収 益拡大	プロジェクト投資資産残高	59億円	90億円
	プロジェクト投資資産の含み益 (割引前累計利益見込額)	83億円	200億円
	現預金とプロジェクト投資資産 の合計額と借入金のバランス	+7億円	+56億円
プライベートエク イティ投資資産の 入替	既存資産の早期流動化・収益化	残高46億円 (引当後)	残高10億円 (引当後)
	・新規投資用のファンド設立 ・戦略的投資の実行	残高6億円	残高10億円

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

3. 通期の業績予想 – 従来連結基準による見込値



	2020/3期 1Q実績	2020/3期 上期 見込 (2019/5/15発表値)		2020/3期 通期 見込 (2019/5/15発表値)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	進捗率	金額 (百万円)	進捗率
営業収益	196	600	32.7%	3,500	5.6%
営業原価	59	290	20.5%	1,600	3.7%
営業総利益	136	310	44.2%	1,900	7.2%
販管費	255	550	46.5%	1,100	23.2%
営業利益	△118	△240	-	800	-
経常利益	△146	△320	-	650	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△142	△330	-	500	-

- ✓ 第1四半期実績は巡航速度、期初計画値に変更なし
- ✓ 通期業績見込に対する進捗率が低いことは想定どおり
- ✓ 株式売却益が第4四半期に集中するため、上期は当初より赤字見込み
- ✓ 国内外で投資先のIPOに期待

4. 営業活動の状況



プライベートエクイティ投資	P13
プロジェクト投資	P15

投資実行 5社、合計7.6億円

 SMART SOLAR

スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクト投資の
パートナー企業への戦略投資



株式会社ウエタニ

事業承継ファンドの第1号投資案件
商業施設内装・オーダー家具製造の老舗



MORIHISA 株式会社
森久エンジニアリング

スマートアグリプロジェクト投資の
パートナー企業への戦略投資

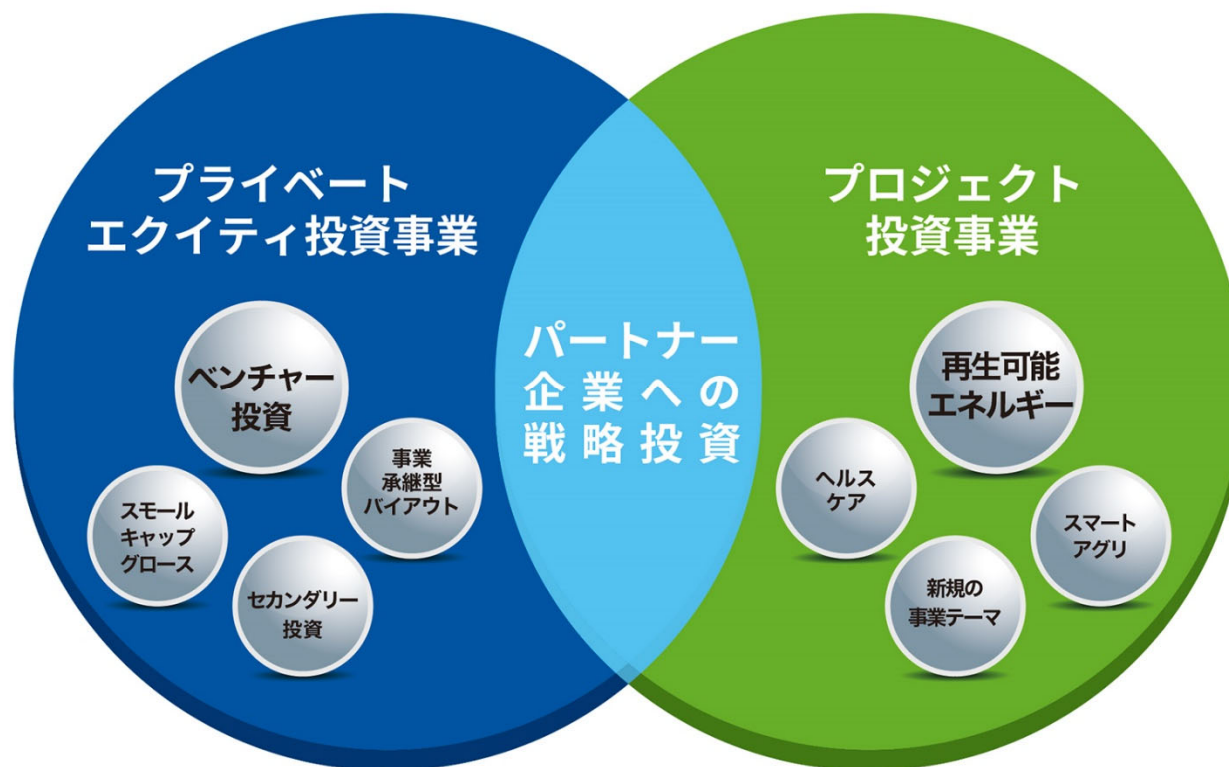


株式会社
ネーブル・ジャパン


株式会社第三銀行等が設立した、三重県
松阪市の地域商社

他IT関連1社

4. 営業活動の状況 – プライベートエクイティ投資 戦略投資の推進



戦略投資 投資事例

 **リニューアブル・ジャパン**
 リニューアブル・ジャパン株式会社
 再生可能エネルギープロジェクト
 投資のパートナー企業

 **SMART SOLAR**
 スマートソーラー株式会社
 メガソーラープロジェクト投資の
 パートナー企業

 **MORIHISA**
 株式会社森久エンジニアリング
 スマートアグリプロジェクトの
 パートナー企業

- 金融機関からの融資資金が調達可能な新規事業を創出し、その事業に投資（プロジェクト投資）を行うとともに、そのパートナー企業にも投資（プライベートエクイティ投資）を行う「戦略投資」に注力
- 投資家としてだけでなく、事業上のパートナーとしても、投資先企業の成長を支援

投資実行 4件、合計3.8億円

No.	所在場所	プロジェクト種類	発電容量	特徴
1	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
2	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
3	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT36円）
4	兵庫県	植物工場	－	工場の操業資金を追加投資

- FIT価格30円台のメガソーラープロジェクトへの投資が進捗
- 植物工場は2020年3月までのフル稼働を目指して順調に操業中

4. 営業活動の状況－プロジェクト投資

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2019年6月末)



メガソーラープロジェクト

売電中 12件 29.8MW

建設・企画 12件 70.0MW

合計 24件 99.8MW

(うち当社出資持分 56.4MW)

上記の他

売却・他回収済 22件 119.7MW

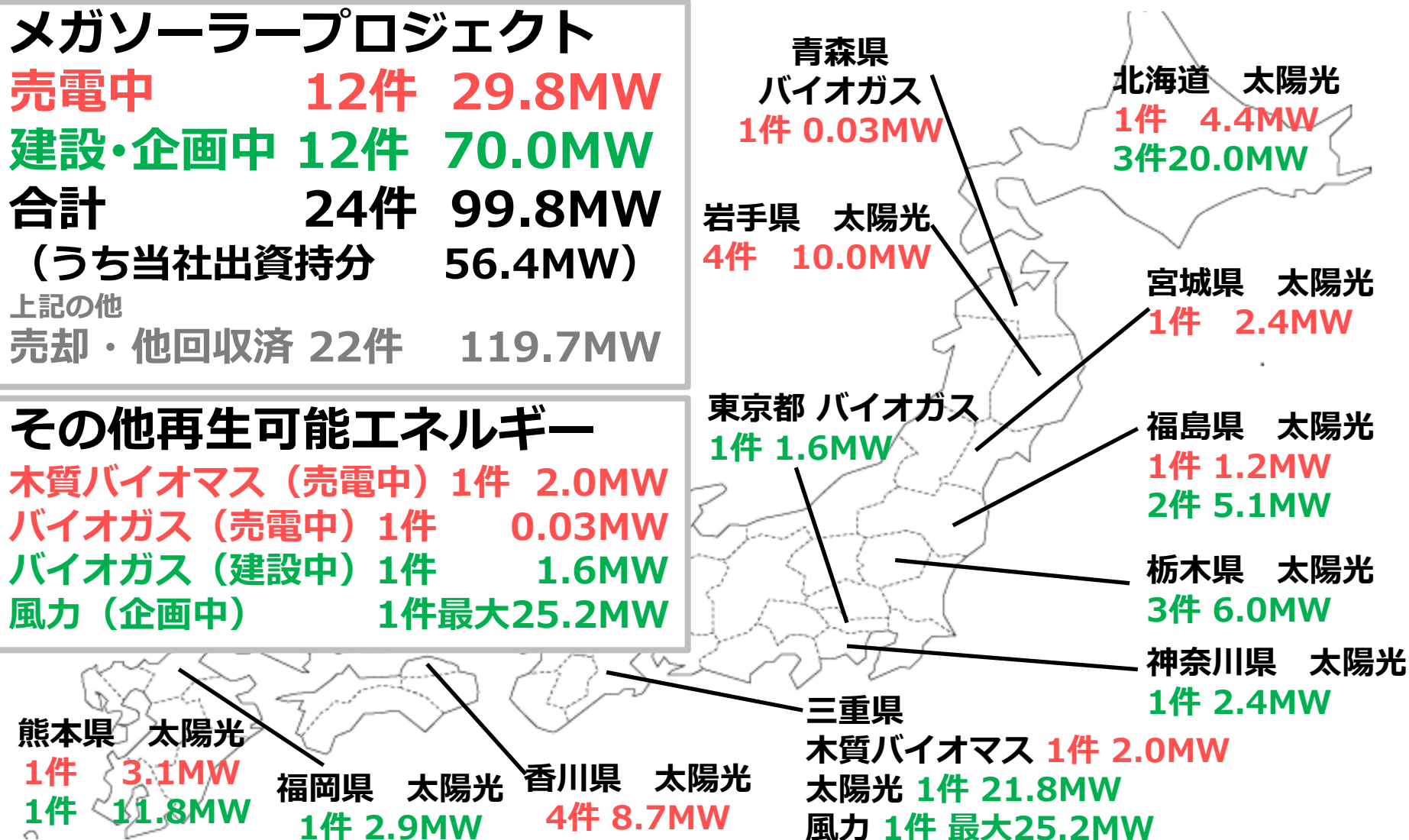
その他再生可能エネルギー

木質バイオマス (売電中) 1件 2.0MW

バイオガス (売電中) 1件 0.03MW

バイオガス (建設中) 1件 1.6MW

風力 (企画) 1件最大25.2MW



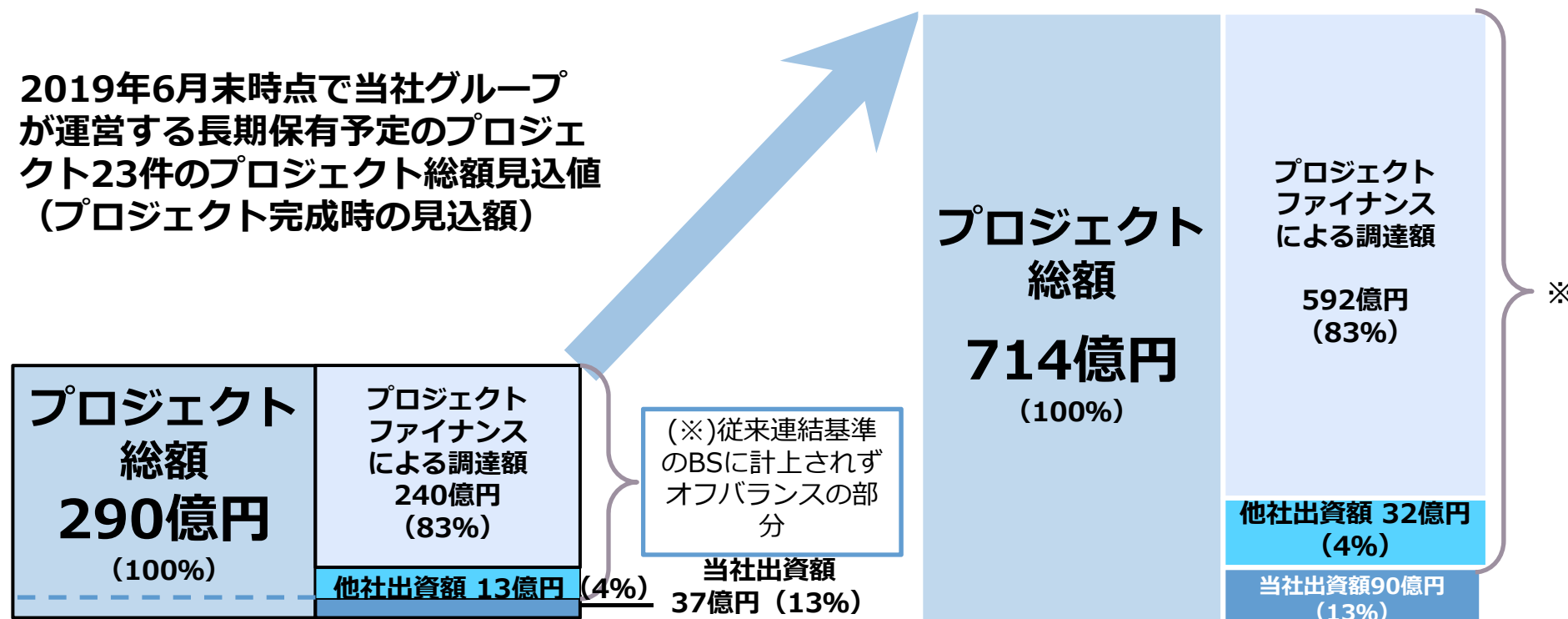
※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

運営プロジェクトのプロジェクト総額	P18
運営プロジェクトの累計収入見込み額の試算	P19
プロジェクト投資の案件一覧	P20
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P22
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P23
主要データの推移	P24
営業収益・営業原価 内訳	P26
JAICの強み	P27
収益構造	P28
会社概要	P30

運営プロジェクトのプロジェクト総額



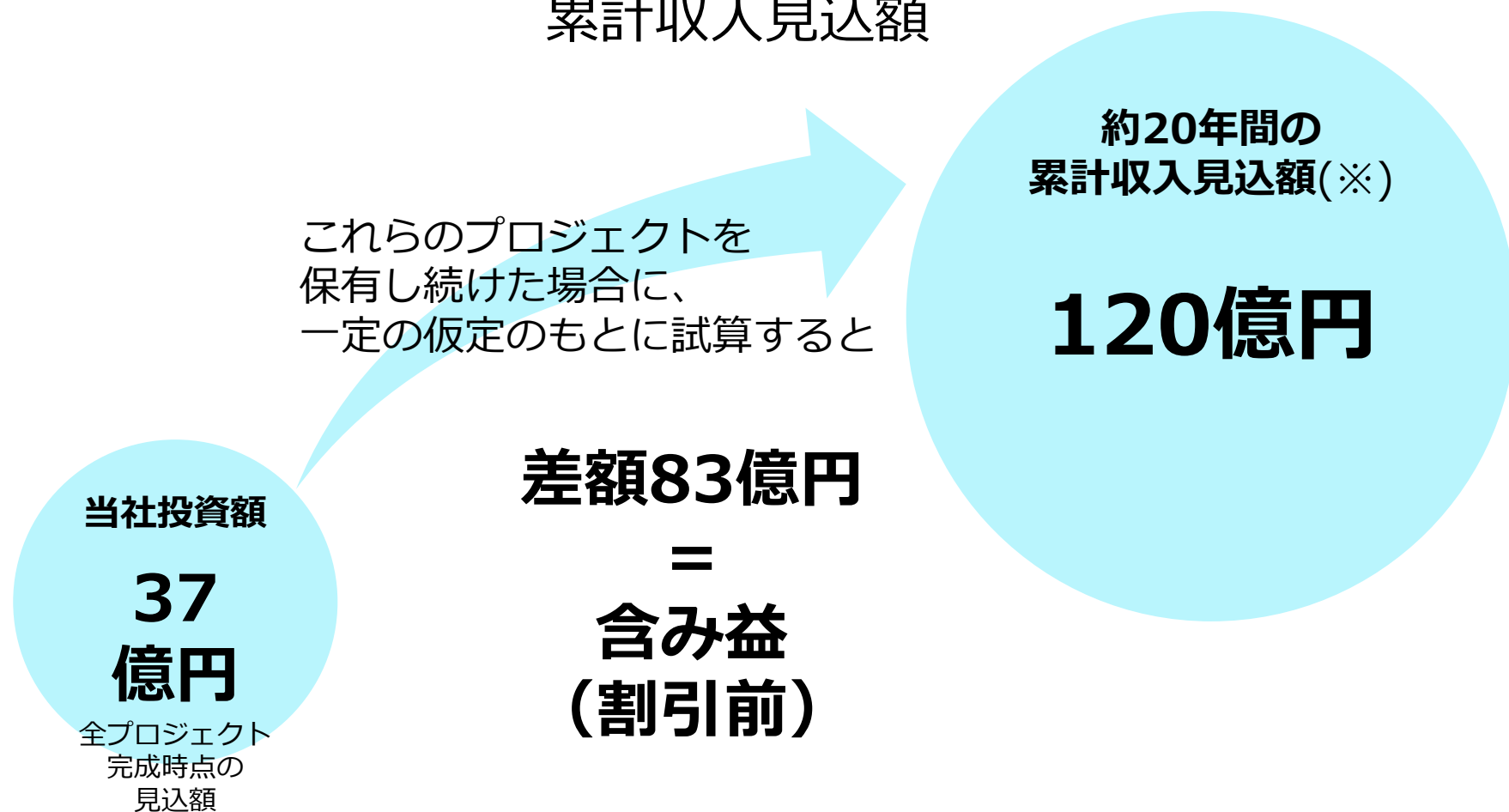
2019年6月末時点で当社グループが運営する長期保有予定のプロジェクト23件のプロジェクト総額見込値
(プロジェクト完成時の見込額)



- ✓ 2019年6月末時点で、当社グループが運営する長期保有予定のプロジェクト23件の、プロジェクト総額の合計は290億円の見込み
- ✓ 従来連結基準では、プロジェクト総額のうち「当社出資額」37億円（13%）以外はオフバランスとなっている（※）
- ✓ 当社は、2021年3月末までに、プロジェクト投資の当社出資額を90億円まで増加させる目標。仮に、今後投資するプロジェクトも既存のプロジェクトと同じ割合で資金調達を行うと仮定した場合、当社出資額90億円に対応するプロジェクト総額は714億円に拡大する。

(注)本資料の記載事項はその策定時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

2019年6月末当社グループが運営する
長期保有予定プロジェクト23件の
累計収入見込額



※収入見込額=売電や野菜の販売収入から、減価償却費や支払利息、その他プロジェクト運営に係る各種経費を控除した後に分配される金額。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2019年6月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円
	3	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	4	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	5	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	6	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	7	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	8	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	9	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	10	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	11	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	12	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	13	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設・企画中	40	約66億円
	14	北海道	2.0	建設・企画中	36	-
	15	三重県	21.8	建設・企画中	24	-
	16	福島県	2.4	建設・企画中	32	-
	17	福島県	2.7	建設・企画中	40	-
	18	熊本県	11.8	建設・企画中	36	-
	19	北海道	2.3	建設・企画中	40	-
	20	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	-
	21	福岡県	2.9	建設・企画中	36	-
	22	栃木県	2.0	建設・企画中	36	-
	23	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
	24	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
合計99.8MW (うち当社出資持分 56.4MW)						

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2019年6月末)

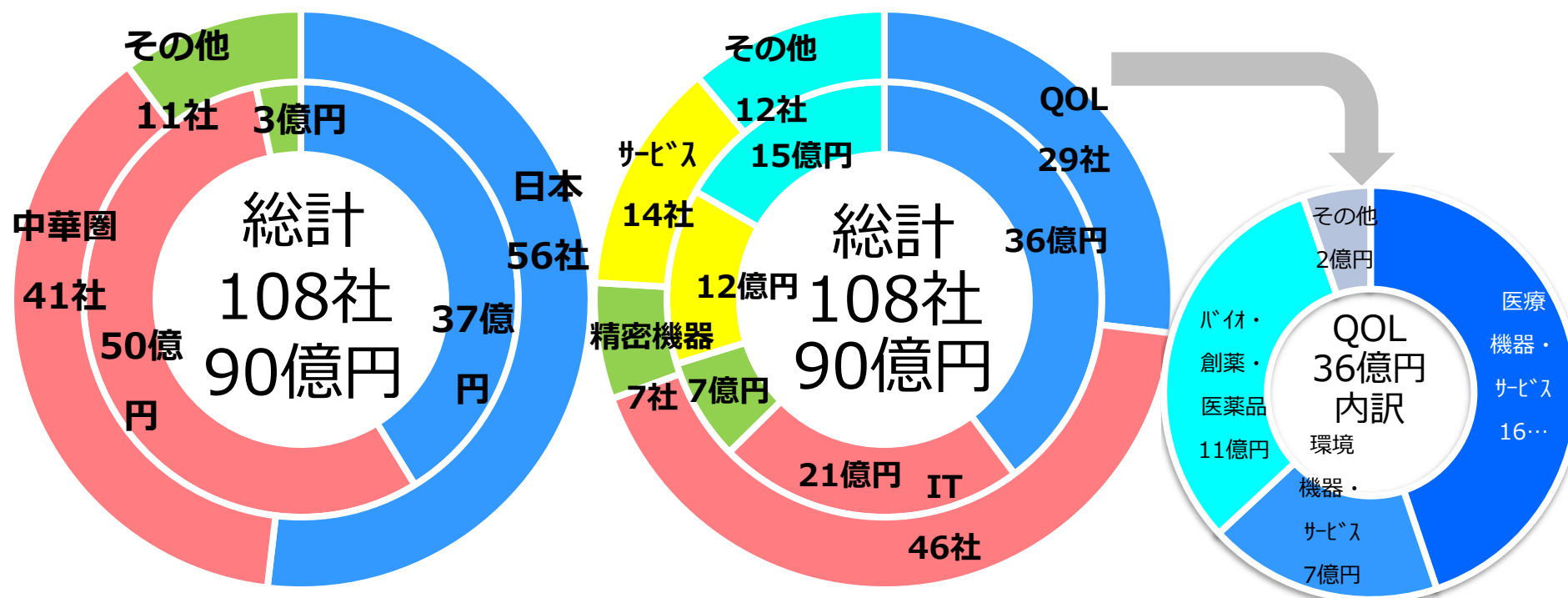


プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.6	建設・企画中	39	-
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	-
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中 (2019年3月操業開始)	-	約7億円

投資残高 108社、合計90億円

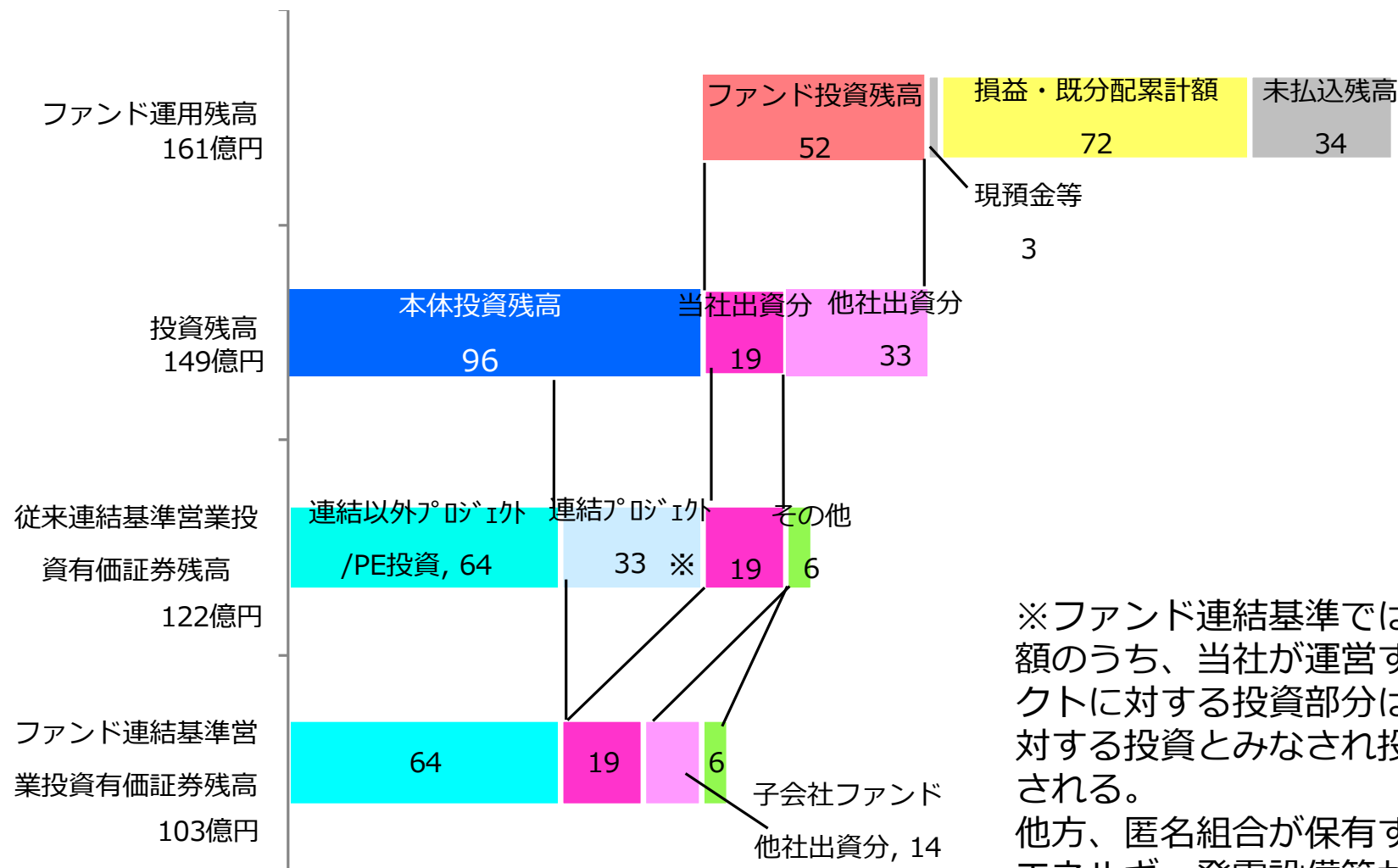
【地域別内訳】

【業種別内訳】



1社当たり平均投資金額：
 日本66百万円、中華圏122百万円/QOL123百万円、IT44百万円

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ投資資本消去される。
他方、匿名組合が保有する再生可能エネルギー発電設備等が、固定資産に計上される。

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(1Q)	20/3(1Q)
ファンド設立・増加額	-	5,201	500	1,000	2,000	600	-
ファンド運用残高	43,897	39,335	28,753	19,150	16,494	17,601	16,150
うち 当社グループ出資額		14,004	9,427	5,867	5,344	5,801	5,216
投資実行額（プライベートエクイティ投資）	1,470	1,304	1,131	1,205	136	106	764
投資残高（プライベートエクイティ投資）	18,385	15,061	11,981	10,398	8,437	9,153	9,026
投資実行額（プロジェクト投資）	1,257	2,788	3,184	2,681	3,612	1,323	380
投資残高（プロジェクト投資）	1,337	3,722	4,576	3,582	5,514	4,660	5,923

主要データの推移 ②



・業績、財務状況 (従来連結基準)

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(1Q)	20/3(1Q)
業績							
営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	189	196
営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	△297	136
販売費及び一般管理費	1,433	1,472	1,339	1,311	1,109	239	255
営業利益	△550	82	836	1,017	177	△537	△ 118
経常利益	△610	612	726	954	83	△537	△ 146
親会社株主に帰属する当期純利益	△850	597	553	874	578	△539	△ 142
財務状況							
現預金	9,437	8,202	6,213	7,308	5,564	4,695	3,724
営業投資有価証券 (プロジェクト投資)	1,337	3,722	4,081	3,582	5,514	4,660	5,923
営業投資有価証券 (戦略投資投資)	-	100	100	373	373	373	685
引当後 営業投資有価証券 (戦略投資以外のプライベートエクイティ投資)	10,364	8,126	7,256	5,657	4,765	5,501	4,677
借入金	20,193	16,910	14,128	11,954	9,784	10,486	8,887
自己資本	3,373	4,976	5,686	6,545	6,840	5,990	6,615
総資産	24,396	22,680	20,305	19,220	17,305	17,218	16,029

営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)



(単位：百万円)		15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(1Q)	20/3(1Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	571	441	364	277	241	65	55	△14.8%
	成功報酬	63	288	101	86	-	-	-	-
	営業収益	634	729	466	364	241	65	55	△14.8%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	634	729	466	364	241	65	55	△14.8%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	3,651	2,954	2,275	3,219	1,746	70	90	27.3%
	組合持分利益等	193	345	1,159	1,677	429	44	40	△9.2%
	営業収益	3,844	3,300	3,434	4,897	2,176	115	130	13.2%
	営業投資有価証券売却原価	1,767	1,863	1,423	2,469	554	64	50	△22.2%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	1,704	569	274	562	579	415	5	△98.6%
	組合持分損失等	168	47	46	36	49	5	1	△64.3%
	営業原価	3,640	2,481	1,744	3,069	1,182	485	58	△88.0%
		営業総利益	203	818	1,690	1,827	993	△370	72
3.	その他								
	営業収益	53	13	25	142	57	8	10	17.6%
	営業原価	9	7	6	5	6	1	1	△3.9%
		営業総利益	44	5	19	136	51	7	8
合計									
	連結営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	189	196	3.7%
	連結営業原価	3,650	2,488	1,750	3,074	1,188	487	59	△87.8%
	連結営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	△297	136	-

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

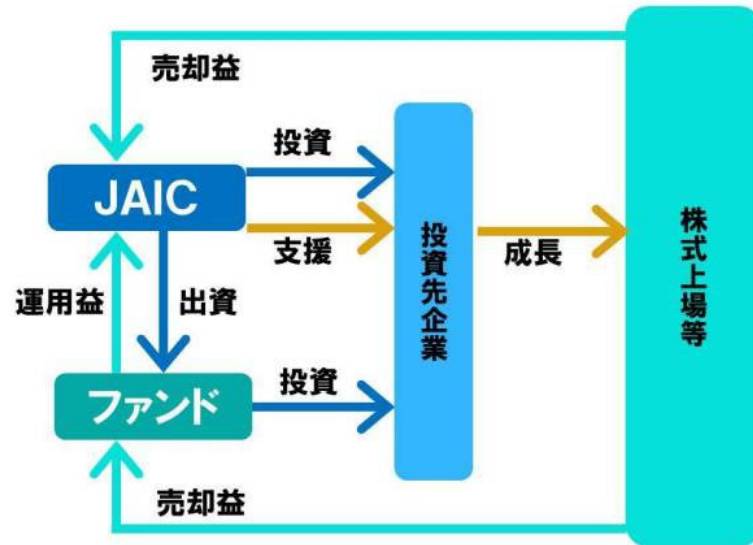
国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。

プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

収益構造 - 投資業務



●投資業務：プライベートエクイティ

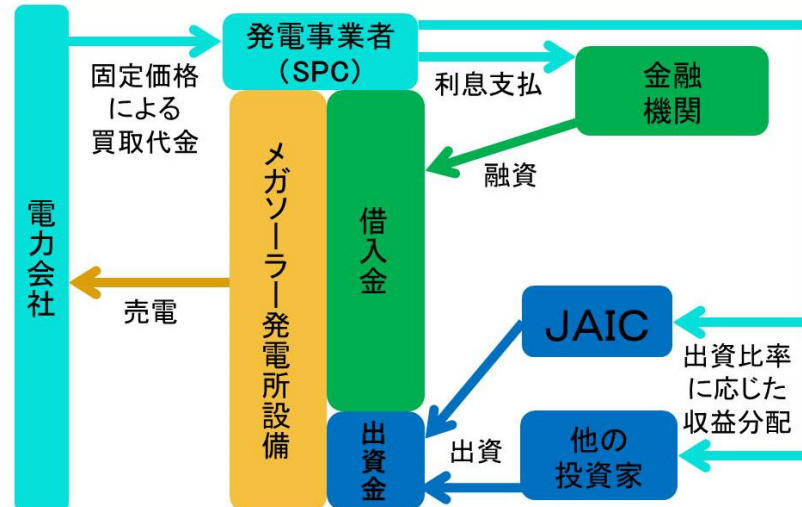


投資資金は、

- ・ J A I C 自身の手元資金からの拠出
- ・ ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務：再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・ J A I C、他の投資家の出資金
 - ・ 金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社には買い取られます

J A I C等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造 - ファンド管理業務



●投資事業組合等（ファンド）の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・ 経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要 (2019年6月末現在)



商号	日本アジア投資株式会社	(略称) JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	5,426百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部	(証券コード : 8518)
従業員数	単体22名 / 連結41名	
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資	
役員	取締役会長 (独立社外)	川俣 喜昭 : 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗
	取締役 (執行役員)	八田 正史
	取締役	大森 和徳 : 監査等委員長
	取締役 (独立社外)	安川 均 : 監査等委員
	取締役 (独立社外)	沼波 正 : 監査等委員
	取締役 (独立社外)	片桐 春美 : 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 T e l (03) 3259-8518 F a x (03) 3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。